

科目名	教科書名	副教材名
中学2年 英語	NEW HORIZON English Course 1, 2	新中学問題集 標準編 2年 ENGLISH DISCOVER I ENGLISH DISCOVER II 新ユメタン0 Get Ahead 2 (GLのみ)

1. 授業のねらい

- 1年生での既習事項を土台にし、英語の4技能をさらに向上させましょう。
- (1) 英語の自然な発音やイントネーションに慣れる機会を多く持ち、正しく音声を聞き取る力を身につける。
 - (2) 音読練習などを通して英語の自然な発音やイントネーションで話そうとする姿勢と力を身につける。
 - (3) 自分の言いたいことをスピーチできるための表現力を養う。
 - (4) 英文を正しく読み取るための文法の知識や語彙力を身につけ、多くの英文に触れる。
 - (5) 自分の言いたいことを正しく書けるための文法と語彙力を身に着ける。
 - (6) 英語を通じて言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを取ろうとする態度を身につける。

2. 授業のすすめ方

英語

- (1) 教科書に基づき、基本例文や語彙を学習する。
- (2) 新中学問題集、ENGLISH DISCOVER、スタディーサプリングリッシュで文法事項の定着、発展学習する。
- (3) 授業や家庭学習でユメタン0を用い、英単語・熟語を学習し、作文力の基礎を構築する。(小テスト実施)
- (4) ロイロノート、スタディーサプリングリッシュを用いて、実力テストおよび英語検定に対応できる力をつける。

英会話

- (1) 1クラスを3グループに分け、3名のネイティブスピーカーの先生がそれぞれのグループを担当します。日本人の先生は、1時間の中で3つのグループを回ります。
- (2) 各学期の終わりに、インタビューテスト、プレゼンテーションテストなど受け、評価を次に生かす。
- (3) 2月実施のスピーキングコンテストに向けた準備を通して、プレゼンテーション能力の基礎を養う。

3. 学習上の留意点

英語

- (1) 授業を有効活用するために
 - ・復習を徹底し、その日の授業で学習したことはその日のうちに復習をする。
 - ・プリント類は配布されるファイルに各自で保管する。
- (2) 各自の力を伸ばすために
 - ・課題には真剣に取り組み、必ず期限までに提出をする。
 - ・英検や実力テストの受験を通して、より高度な英語に触れる機会をなるべく多く持つ。
 - ・小テストでは合格点を目指し努力する。(不合格の場合は、放課後に追試を実施する。)

英会話

- (1) 授業を有効活用するために
 - ・少数人数制授業の利点を生かし、ひとりひとりの発言の機会を増やす努力をする。
 - ・通常の英語の授業で学んだ英語を実際に使ってみる。
 - ・生徒同士でも日本語を使わない。英語を使う雰囲気をもみんなで作る。
- (2) 各自の力を伸ばすために
 - ・必ず宿題を提出する。

4. 副教材・参考文献

新中学問題集 英語 標準編 2年 (教育開発出版)
 ENGLISH DISCOVER I, II (教育開発出版)
 新ユメタン0 英単語・熟語 (アルク)
 Get Ahead 2 (GLのみ)

5. 評価の視点・テスト・課題等

- < 定期考査 > 100点満点で年に5回実施します。(1学期中間・期末, 2学期中間・期末, 3学期期末)
 < 平常点 > 授業態度, 小テスト, 課題の提出と取り組み, 英会話の授業の参加意欲・態度, インタビューテストの評価等, 以上を総合的に評価して平常点を算出します。
 < 10段階評価 > 各学期に10段階で評価します。定期考査の点数を7割, 平常点を3割で算出します。

6. 定期考査

教科書ならびに授業で学習したことを中心に出題します。

定期考査の問題は筆記 80%程度, リスニング 20%程度を基本とします。

定期考査の出題範囲は試験 1 週間前に発表します。

7. 授業計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	Unit 0 過去進行形 問題集 1 一般動詞の過去形 2 be 動詞の過去形 3 過去進行形	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査の成績 ・小テストの成績 ・授業態度 ・課題, 提出物の状況 ・英会話での取り組み発表の状況 	<ul style="list-style-type: none"> ○過去進行形の形・意味・用法を理解し, 表現出来る。 ○be going to の文の形・意味・用法を理解し, 表現出来る。 ○SV, SVC, SVO, SV00, SVOC の文型の文の形・意味・用法を理解し, 表現出来る。 ○if 節, that 節, when 節, because 節の文を理解し, 表現できる。 ○不定詞の3用法の形・意味・用法を理解し, 表現出来る。
	5	Unit 1 will, be going to SVOC の文 問題集 4 未来の文 (will 含む) 5つの文構造		
	6	問題集 14 文型 (中間考査)		
	7	Unit 2 接続詞(when, if, that, because) を使った文 問題集 13 接続詞 Unit 3 不定詞の3用法 問題集 11 不定詞 Stage Activity 1 (期末考査) 夏季課題 問題集 6 命令文 8 名詞、冠詞 9 代名詞 18 前置詞		
二学期	9	Unit 4 have to, do not have to～ must, must not～ 動名詞(主語, 目的語) 問題集 5 助動詞 問題集 12 動名詞	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査の成績 ・小テストの成績 ・授業態度 ・課題, 提出物の状況 ・英会話での取り組み発表の状況 	<ul style="list-style-type: none"> ○助動詞の働きと意味を理解し, 表現できる。 ○動名詞の文を理解し, 表現できる。 ○there is(are)構文の肯定文, 否定文, 応答を理解し, 表現できる。 ○比較表現の形・意味・用法を理解し, 表現できる。
	10	Unit 5 how to ～ 主語+be 動詞+形容詞+that (中間考査)		
	11	Unit 6 比較表現(原級, 比較級, 最上級) 問題集 16 比較(1) 17 比較(2) Stage Activity 2 (期末考査)		
	12	冬季課題 問題集 10 いろいろな疑問文 問題集 15 形容詞、副詞		
三学期	1	Unit 7 受動態 Stage Activity 3 問題集 19 形容詞、副詞 2年間の総復習	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査の成績 ・小テストの成績 ・授業態度 ・課題, 提出物の状況 ・英会話での取り組み発表の状況 ・スピーチコンテストでの取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ○対話文, 長文読解演習を通して中学1・2年生での既習事項の確認・定着を図る。 ○動詞の過去分詞を習得し, 次年度で必須となる基礎知識を確認する。
	2	(スピーチコンテスト) 問題集 補講 現在完了 (期末考査)		
	3	春季課題 問題集 7 There is ～の文		

※シラバスの内容は理解度やその他の都合により省略や追加, また前後することもあります。